



# かけはし vol. 47

- (1面) 全国学力・学習状況調査から見える本県小・中学生の状況
- (2面) 学校・家庭・地域が連携して「いじめ見逃しゼロ」を！／児童生徒の夢や希望をかなえるキャリア教育
- (3面) さんフェア新潟2019大会報告  
／第1回科学の甲子園ジュニア新潟県大会報告
- (4面) インフォメーション



## 全国学力・学習状況調査から見える本県小・中学生の状況



本年4月、小学校6年生と中学校3年生を対象に平成31年度全国学力・学習状況調査が実施されました。

### 今年度の変更点

- ①新学習指導要領の趣旨を先取りし、**知識と活用を一体的に問う**問題形式となりました。
- ②初めて**英語が調査対象**となり、4領域（「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」）に基づいて、実施されました。

### 学習指導要領と新学習指導要領

- 「学習指導要領」は、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定める教育課程の基準で、およそ10年に一度改訂されます。**来年度は小学校で、令和3年度は中学校で**、新学習指導要領が実施されます。
- 本調査結果を踏まえ、「何を学ぶか」だけでなく「**どのようにして学ぶか**」も重視して授業改善していきます。



◀新学習指導要領では、これら三つの力をバランスよく育むこととされました。

### 【本県小・中学生の学力調査の結果】 公立小・中学校の平均正答率（新潟県、全国ともに政令市含む。）

	小学校		中学校	
	新潟県	全国	新潟県	全国
国語	68	64	74	73
算数	66	67	60	60
英語			55	56

- 国語は小・中学校ともに全国平均を上回っていますが、小学校算数と初実施の中学校英語は、全国平均を下回っています。
- 新学習指導要領の考えに基づき、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感できる授業づくりに全校体制で取り組んでいきます。



## ◆◆◆質問紙調査における本県小・中学生の様子◆◆◆

全国平均や本県小・中学生の平均と比べると、お子さんの様々な状況が見えてきます。

### 質問紙調査の結果 ① 家庭学習に関すること

平日1時間以上家庭学習する割合(%) (学習塾や家庭教師の時間も含む)



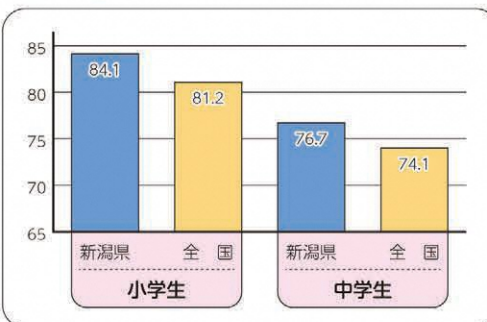
○小学生の割合は、全国と比較しても高い状態で推移しています。



○中学生の割合は、全国との差は縮まりつつありましたが、今年度は大きく下回りました。

### 質問紙調査の結果 ② 自分自身に関すること

「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対する回答



- 小・中学生とも、「思う」と回答した割合は、全国を大きく上回っています。
- 人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という「自己有用感」が高いことは、社会性の基礎となります。

- 「何時になったら勉強を始める」などのルールづくりや、家での過ごし方のシミュレーションを、お子さんと一緒に行ってみましょう。
- 勉強する場所は、リビングなど一生懸命やっていることが確認できる場所にすると、頑張りをほめたり、温かい声をかけたりすることができ、子どもも認められる喜びから学習への意欲が前向きになります。

- 「褒めて育てる」という発想よりも、「認められて育つ」という発想の方が、自己を肯定的に捉えることができ、自信が持続しやすいそうです。
- お子さんとの関わり方は千差万別ですが、子どもを認める声かけをお願いします。

○問い合わせ先  
新潟県教育庁義務教育課 指導第1係  
TEL 025-280-5604 FAX 025-285-8087